

A. 日時 2012 年 9 月 20 日 (木) 17:00~19:00

B. 場所 建築会館 306 会議室

C. 出席 主査：羽山広文、幹事：柳井崇、郡公子、委員：(赤司泰義)、(秋元孝之)、(石川幸雄)、
石野久彌、(猪岡達夫)、(宇田川光弘)、(岡建雄)、(川瀬貴晴)、古賀誉章、(小林陽一)、
坂上恭助、佐々木邦治、(佐野武仁)、清水昭浩、高井啓明、高草智、千葉隆文、
仲野章生、(中野淳太)、二宮秀典、(野部達夫)、(本間睦朗)、(吉田治典)
()付きは欠席、敬称略・順不同)

D. 配付資料

資料 No.3-1 2012 年度第 3 回建築設備運営委員会議事次第

資料 No.3-2 2012 年度第 2 回建築設備運営委員会議事録 (案)

資料 No.3-3 環境工学本委員会からの依頼事項 (羽山主査)

資料 No.3-3-2 第 2 回環境工学委員会議題 (2012.9.20) (羽山主査)

資料 No.3-4-4 次世代排水システム小委員会第 2 回議事録(案) (古賀委員)

資料 No.3-4-5 第 3 回環境建築設計法小委員会議事録(案) (羽山主査)

資料 No.3-4-6 ガラス建築快適環境 WG 委員会状況報告 (佐々木委員)

資料 No.3-5 第 8 回建築設備シンポジウム「環境建築の最新性能を考える Part II」(羽山主査)

資料 No.3-5-2 第 8 回建築設備シンポジウム動員計画(案) (柳井幹事)

E. 議事：

1. 前回議事録が確認され、承認された (資料 No.3-2)。

2. 環境工学本委員会からの依頼事項について報告・審議がされるとともに、第 2 回環境工学本委員会の報告がされた (資料 No.3-3、No.3-3-2)

1)来年度大会オーガナイズドセッション

・環境建築設計法小委員会より「環境配慮型空調と室内環境」が提案され、環境工学本委員会で承認された。

2)来年度の技術部門設計課題

・環境建築設計法小委員会で作成された案「2050 年度にむけた新しい環境建築とは？」が、環境工学本委員会で承認され提案されることになった。今後全体で審議されるが、環境分野は 4~5 年に 1 回採択されている。採択されると、審査会や大会 PD の企画などの対応が必要である。

3)来年度活動計画案・予算案

・10/20 までに、各小委員会・WG の書類を羽山主査へ提出する。次世代排水システム小委員会以外の小委員会・WG は、今年度が最終年であり、廃止申請書と設置申請書の提出も必要である。

4)推薦

・設備運営委員会より提案した教育賞 (教育業績) 候補・荒谷登 北大名誉教授が、環境工学本委員会から推薦されることになった。

・本会大賞業績候補の推薦依頼に対して審議された結果、羽山主査に一任することになった。

5)その他の環境工学本委員会報告

・若手奨励特別研究委員会の公募内容と期限 (10/26) が報告された。

・来年度大会予定は、電子投稿締切り 4/10、プログラム編成会議 4/24、大会 8/30~9/1 (北大) である。

・制定から 5 年を経過した AIJES 建築設備管理ガイドラインの改訂に関する審議内容が報告された。

・予算執行状況について報告された。小委員会の旅費が不足する場合、設備運営委員会から支給可能であることが説明された。

3. 小委員会の活動報告がされた。

1) 次世代排水システム小委員会（資料 No. 3-4-4、古賀委員）

- ・機械排水 WG では、仮設トイレへの真空型排水の導入を検討している。サイホン排水 WG では、ガイドラインづくりを進めている。名称は、「機械・サイホン排水ガイドライン」とする。

2) 環境建築設計法小委員会（資料 No. 3-4-5、羽山主査）

- ・建築設備シンポジウムに関する審議、節電対策と効果の紹介、フリーアドレス方式を採用するビルの空調環境設備計画の紹介などがされた。

3) ガラス建築快適環境 WG（資料 No. 3-4-6、佐々木委員）

- ・6/25、8/23 に委員会を開催した。出版に向けて出版社 2 社と協議した。カラー情報を出せる電子出版を視野に入れ、内容の検討を進める予定である。

4. 2012 年度第 8 回建築設備シンポジウムについて、審議された（資料 No. 3-5、3-5-2、柳井幹事）。

- ・参加申込みは現時点で 26 名である。参加勧誘の担当を決めた。
- ・原稿提出期限 9/21 に対して、現在 2 件提出されている。今後、必要な場合は講演依頼担当者から原稿の催促をお願いすることになった。
- ・環境工学委員会のメーリングリストを利用し、9/25 にシンポジウム開催案内が配信される予定である。

5. 来年度委員会組織について、審議、確認がされた。

- ・郡幹事が来年度主査を務めることが認められた。来年度幹事の選任は、来年度主査に任せる。
- ・小委員会の定員は 15 名である。公募を希望する場合は羽山主査に連絡する。
- ・非会員を委員にする場合は、理由書が必要となる。学会活動は委員が行うことが原則になっており、非会員には入会を勧めることが確認された。

6. 今後の予定

2012 年 10 月 19 日（金）10:00～16:45 建築設備シンポジウム 於：建築会館

2012 年 11 月 6 日（火）17:00-19:00 建築設備運営委員会 於：建築会館

（文責：郡）